

CSAJ 活動 pickup

2019年1月～2019年6月

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

CSAJ 活動 pickup

2019年1月～2019年6月

2019年1月から2019年6月までに行った主な活動を pickup してご紹介します。

本誌では、委員会・研究会活動等のうち、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめました。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動ありましたら、ぜひご参画ください。

内容

政策提言・意見交換	2
視察・海外出展・国際交流	3
イベント	6
ビジネスマッチング	10
情報提供セミナー・説明会	12
ニュースリリース	25
報告書	26
実施事業	28

政策提言・意見交換

2019年1月29日(火)、2019年2月4日(月)

経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課との意見交換実施及び意見提出

2019年1月29日(火)、METI会議室にて、IT導入補助金に係る意見交換を、CSAJ政策委員会 中小企業IT支援活用WGメンバーと経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課にて行いました。また、意見交換を受け、2019年2月4日(月)、WGメンバーの意見を経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課へ提出しました。

2019年2月22日(金)

経済産業省からの改元に伴う対応の状況に関するアンケート調査報告

2019年2月6日(水)、経済産業省 商務情報政策局 情報産業課より、改元に関するベンダー企業の対応状況調査及び周知依頼があり、会員向けアンケートを行い、とりまとめた回答を2月22日(金)に経済産業省 商務情報政策局 情報産業課へ提出しました。

2019年2月22日(金)

厚生労働省へ新元号初年の表記に関する意見書を提出

新元号の表記方法について、1)和暦が使用されている全ての帳票に関し、新元号の初年について、「新元号1年」と記載した帳票について、必ず受付可能としていただきたい。2)和暦が使用されている帳票のうち、新元号の初年の記載について、「新元号元年」と記載したほうが、より望ましい帳票が存在する場合には、それらの望ましい帳票群をパターン化した上で、ソフトウェア・ベンダーに事前に提示していただきたい。という要望を政策委員会にてとりまとめ、2019年2月22日(金)、厚生労働省 政策統括官付情報政策担当参事官室へ意見を提出しました。

2019年3月1日(金)

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課と定例意見交換会を実施

2019年3月1日(金)、山王健保会館にて、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課との定例意見交換会を行いました。(参加:経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 10名、CSAJ側 10名)

本意見交換会は、定期的にCSAJ幹部(会長・副会長等)と経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課が情報や課題等を共有することにより、今後の施策策定の一助とすることなどを目的として実施されています。今回経済産業省からは、コネクテッドインダストリーズ税制の活用状況やモデル取引・契約書の改訂に向けた動き、未踏会議2019や第四次産業革命スキル習得講座認定制度などについて説明がありました。CSAJ側からは、CSAJを取り巻く課題とその対応・要望として、新元号初年の表記に関する意見やソフトウェアビジネスの海外展開と課題、日本IT団体連盟が2月に提出した政策要望などについて説明を行い、その後、ざっくばらんな意見交換を実施しました。

視察・海外出展・国際交流

2019年5月17日（金）

大阪府立大学植物工場センター視察（主催：農業 ICT 研究会）

2019年5月17日（金）、大阪府立大学植物工場センターの視察を行いました。（10社14名）

■当日スケジュール

13:00	大阪駅西梅田バス臨時駐車場集合
13:00~13:40	移動
13:50~15:00	講演：「人工光型植物工場の現在と今後」 講師：増田昇氏（大阪府立大学植物工場センター長）
15:00~16:10	植物工場センター見学
16:10~16:40	増田昇氏との質疑応答
16:50~17:30	移動
17:30~19:30	懇親会・解散

講演では、植物工場の基本情報や環境制御、ロボット活用による IT 利用の状況について、大阪府立大学の実態をもとにご説明いただき、その後、レタスやハーブなど播種・育苗・栽培といった様々な過程で育成させる様子や養液栽培の栄養素の補完としてドジョウを使用する工夫など、普段見ることのできない施設内を見学しました。

参加者の皆様は国内における農業 ICT の将来や課題を認識するとともに、自社ビジネスとの関係性など検討している様子でした。



視察・海外出展・国際交流

2019年4月1日（月）

中国ソフトウェア産業協会との意見交換を実施

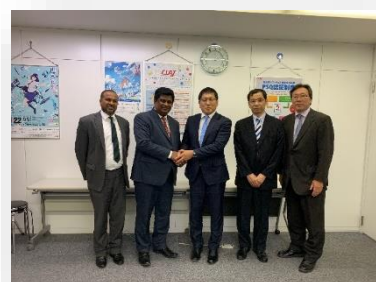
2019年4月1日（月）、CSAJ 会議室にて、業界状況・協会活動について中国ソフトウェア産業協会（CSIA）と意見交換を行いました。（CSIA11名、CSAJ 水谷筆頭副会長、伊藤副会長、アジアビジネス研究会を中心とした10名）
情報サービス産業における課題や、7月に行われる深セン視察、CSAJ 上海事務所設置の方向性について、意見交換を行いました。



2019年5月8日（水）

スリランカ IT 大臣表敬訪問、意見交換を実施

2019年5月8日（水）、CSAJ 会議室にスリランカ IT 大臣が表敬訪問され、荻原会長、笹岡専務理事、原理事・事務局長にて対応しました。スリランカでは優れた IT 人材も多く、日本との協業も可能とのことで、現在南魚沼市の国際大学で IT 人材の育成も力を入れている。日本では平井 IT 担当大臣がいるので、ぜひ、お会いした方が良くアドバイスし、今後、平井 IT 担当大臣を含め荻原会長や会員でスリランカ訪問ができるように招待状をいただければとリクエストしました。



2019年5月10日（金）

バングラデシュ関係者、国際協力機構との意見交換を実施

2019年5月10日（金）、CSAJ 会議室にて、バングラデシュ及び、バングラデシュにおける国際協力機構（JICA）の事業概要、外国人材育成プログラムについて意見交換を行いました。（バングラデシュ関係者3名、JICA 専門家2名、CSAJ2名）
本意見交換では、バングラデシュ経済の現況や JICA 事業の概要、JICA による技術協力プロジェクトで、バングラデシュ国内の優秀な ICT 技術者を対象に、日本市場をターゲットとした人材育成プログラム（B-JET）について意見交換を行いました。



視察・海外出展・国際交流

2019年5月16日(木)

ベトナム銀行学院大学との意見交換を実施

2019年5月16日(木)、CSAJ会議室にて、ベトナム銀行学院大学と会員でもある大原学園が来協され、ベトナムIT人材について意見交換を行いました。外国人IT技術者を採用するには、言語の問題と共通の技術指標が必要で、言語については大原学園がベトナムにおいて日本語センターを今後開設していくとのこと。また、技術指標については日本にはiCD(iコンピテンシー・ディクショナリー)があり、今後グローバルに利用できたら良いと提案しました。



2019年5月24日(金)～29日(水)

荻原会長、伊藤副会長が中国(北京・上海)を視察

2019年5月24日(金)～29日(水)、荻原会長、伊藤副会長が中国の北京・上海を訪れ、現地の各団体および北京市政府関係者と会談をしました。

詳細はホームページでご確認ください。

5月24日(金) 中国交通部公路交通試験場(RIOH)見学

5月25日(土) 中国ソフトウェア産業協会 盧山理事長と会合/会食

5月26日(日) 中国サービス貿易協会 仲澤宇副会長兼秘書長と会合/会食

5月27日(月) 北京市経済情報局 王剛局長/北京市朝陽区人民政府 李長萍副区長と会合

5月28日(火) 北京から上海へ移動

5月29日(水) 虹橋海外貿易中心(麗宝広場 Tower2) / 国家会展中心(上海) 見学



2019年6月5日(水)

スウェーデン大使館商務部との意見交換を実施

2019年6月5日(水)、CSAJ会議室にスウェーデン大使館商務部の方が訪れ、北欧のIT事情、スウェーデンへの企業誘致等について説明を受けるとともに、双方のソフトウェア産業の現状について意見交換を行いました。

2019年6月6日(木)

一般社団法人ロシアNIS貿易会との意見交換を実施

2019年6月6日(木)、一般社団法人ロシアNIS貿易会が来協し、IoTやオープンイノベーションを中心としたイベント(ロシア)の説明や、IT人材について意見交換を行いました。

イベント

2019年1月16日（水）

平成31年 新年賀詞交歓会

開催に先立ち、CSAJ 会長 荻原紀男より皆様への新年の挨拶があり、平成時代の30年を振り返り、生産性が飛躍的に伸びたこと、そしてこれからはロボットやAIを活用して生産性を向上させ、人間が頭を使って考える時間を作り、横の連携をしていく必要があること、改元や消費税増税を迎えるにあたり、皆様の力を結集して、IT業界全体で対応したいと述べました。

その後、ご来賓を代表して、日頃業界活動や当協会の活動に多大なるご支援をいただいております外務大臣 河野太郎様、IT・科学技術政策担当大臣 平井卓也様、経済産業大臣政務官 滝波 宏文様にそれぞれご挨拶を頂戴いたしました。河野太郎外務大臣からは、ITセキュリティやAIを搭載型ロボットへの対応などの課題に対し、生産性向上させ「先」のことを考えること、そして人材育成なども重要であり、皆様の知恵を借りながら、日本がリーダーシップをとることを目指したいとお言葉を頂戴しました。平井卓也 IT・科学技術政策担当大臣からは、AIの社会実装にあたる原則を日本がリードした提案を予定していること、そして、時代の経過とともに変わりゆく企業の姿を例に挙げ、日本の高齢化の課題を解決すべく、生産性向上のため、新しいビジネスモデルなど、皆様の力で次の時代を引き寄せる「実装」をしてほしいとお言葉を頂戴しました。滝波宏文経済産業大臣政務官からは、東京オリンピック・パラリンピック、大阪万博など、日本に注目が集まる中、デジタルトランスフォーメーションへの対応が重要であり、皆様に業種業界を超えたリーダーシップを発揮し、改元・増税などへの対応にご協力をお願いしたい、とお言葉を頂戴しました。

その後、富士通株式会社の野口勝史理事からは、異業種へのAI・IoT活用など、IT分野の成長はますます続き、これからはハードウェア以上にソフトウェアの重要性が増すとし、共に頑張っていきたい、とご挨拶をいただいたのち、乾杯のご発声を頂戴し、宴が始まりました。

開会後は、ご参加いただきました皆様による、新年のご挨拶や名刺交換、意見交換など大変活発な交流が行われました。会の終盤には特別ゲストとして、元劇団四季の佐渡寧子様による新春ミニLiveが行われ、新年のスタートを華やかに彩りました。

そして、豊田副会長による中締めでは、平成時代をともに歩んだ歴代会長を紹介し、振り返るとともに、現在の荻原会長を筆頭に、皆様と新しい時代を切り開いていきたいと述べ、平成31年新年賀詞交歓会は閉会いたしました。

当日は、ご来賓の方々、国内外の業界関係の方々、そしてCSAJ会員企業の皆様など約600名にご参加いただき、新たな元号を迎える年にふさわしい、大変盛況な会となりました。



イベント

2019年4月26日(火)

第8回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会

(主催：総務委員会)

2019年4月26日(火)、平成30年度下半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第8回懇親会が「山王健保会館」で開催されました。

当日は、10社/17名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢37名の参加と盛況な懇親会になりました。

会は、荻原会長をはじめとした幹部陣の紹介から始まり、荻原会長による乾杯のご挨拶、参加企業様の紹介と各社からの1分スピーチなども行われ、大変和やかな雰囲気の中、伊藤副会長の中締めで終了しました。

当日ご参加いただいた新入会企業の皆様は以下の通りです。

- 株式会社エイ・ティ情報研
- O&H株式会社
- 東洋システム開発株式会社
- 株式会社 toraru
- 中本総合法律事務所
- 株式会社ユニバーサルコンピューターシステム
- 株式会社横河技術情報
- 株式会社リボルブ・シス
- 学校法人吉岡教育学園 千駄ヶ谷日本語教育研究所
- 一般社団法人道路・舗装技術研究協会



2019年6月8日(土)

第10回 CSAJ 会長杯親睦会

(主催：交流委員会)

2019年6月8日(土)、CSAJ第10回会長杯親睦会(交流委員会主催)が富士市原GC(千葉県市原市)で開催されました。

当日、プレー開始時には霧雨でしたが、その後雨も止み、時折雲間から青空が見える中、総勢46名の皆さまが参加されました。

はじめに、荻原会長の挨拶があり、そのあと交流委員会副委員長の村瀬理事より、ルール説明の後、今回初参加となる方をご紹介いただきました。続いて参加者全員による記念撮影を行った後、OUT/INに分かれて、それぞれの組ごとの記念撮影を行い、プレーが開始されました。日頃鍛えた腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。

プレー後は、表彰式と懇親会が行われ、第10回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了しました。



イベント

2019年6月12日(水)

令和元年度 第34回定時総会・特別講演・懇親会

2019年6月12日、ホテルオークラ東京において、第34回定時総会、会員集会、特別講演、定時総会懇親会が開催されました。

■ 定時総会

第34回定時総会は、荻原紀男会長が議長となり、議案の審議を行いました。

<決議事項>

- 第1号議案 平成30年度事業報告および決算報告承認の件
- 第2号議案 理事の選任について
- 第3号議案 会費規程の一部改訂について

<報告事項>

- 1. 2019年(令和元年)度事業計画および収支予算書について
- 2. 令和元年度CSAJ功労賞等の受賞者発表

審議の結果、第1号議案、第2号議案、第3号議案は原案通り承認されました。なお、出席者数は353名でした。

総会終了後、令和元年度CSAJ役員功労賞等の授賞式が行われました。受賞者は以下のとおりです。

▼令和元年度「CSAJ役員功労賞受賞者」受賞者

高井 尚一郎 様
原山 健一 様

▼令和元年度「CSAJ功労賞：委員会・研究会等活動功績賞」受賞者 人材育成研究会

■ 特別講演

総会終了後、「3年目のトランプ政権：アメリカ政治の現状と展望」と題し、中林美恵子氏(早稲田大学社会科学総合学術院 教授)による特別講演が開催されました。

総勢300名を超える聴講者の皆様は大変熱心に聞き入り、盛況な講演会となりました。

■ 懇親会

第34回定時総会・特別講演が終了した後、ホテルオークラ東京別館地下2F「アスコットホール」に場所を移し、第34回定時総会懇親会が開催されました。

はじめに、ご来賓の方々のご紹介が行われ、そして荻原紀男会長より、2009年にリーマンショックが起きて10年、IT業界は様々な言葉に助けられ、恩恵を受けてきました。これまでIT投資は「コスト」と言われてきましたが、今では「戦略投資」と呼ばれ、IT業界を担う我々がこの先の日本をどう作っていくかという責任があるからだと言われ、今後は、その恩返しをしながら、デジタルサポーター制度のように、すべての人がIoT機器を使いこなせるようにするのが私たちの役目であり、この国の未来を創ることに力を入れていきたいと述べ、開会しました。

その後ご来賓の代表として、IT・科学技術政策担当大臣平井卓也様、経済産業大臣政務官 滝波宏文様にご挨拶を頂戴し、日本電気株式会社 執行役員 須藤和則様による乾杯のご発声で宴が始まりました。

また、会の途中ではお忙しい中ご出席頂いた、衆議院議員 甘利明様よりご挨拶を頂戴致しました。懇親会にはご来賓、業界関係の方々をはじめ、CSAJ会員の皆様など約500名のご来場者を迎え、活発なご歓談が繰り広げられました。

親会は、大変盛況のうちに中締めの日となり、青野慶久副会長による中締め、閉幕しました。



イベント

2019年6月20日(木)

CSAJ 功績賞受賞祝賀会 開催報告 (主催：総務委員会)

CSAJでは、CSAJの活動を通じ、ソフトウェア産業の発展に貢献された役員、または会員企業に属する個人、グループの功績をたたえるため、平成25年度より「CSAJ功労賞」として「役員功労賞」と「委員会研究会等活動功績賞」を設けております。

第6回目となる今年度は、平成30年度の研究会活動において、優秀なIT人材を育成すべく活動を行った人材育成研究会に『委員会研究会等活動功績賞』を贈ることが決定し、6月の総会開催時の表彰を経て、2019年6月20日(木)、研究会メンバーご招待の上で受賞祝賀会を開催いたしました。

<受賞研究会のご紹介>

人材育成研究会

主査：富田 伸一郎 ((株)ウチダ人材開発センタ 常務取締役) (敬称略)
登録メンバー：31社48名

(株)アールワークス、アイスタディ(株)、アライドテレシスアカデミー(株)、anbx(株)、イノベクス(株)、(株)インテリジェントウェイブ、(株)インフォテック・サーブ、(株)ウチダ人材開発センタ、(株)OSK、(株)オープンストリーム、学校法人大原学園、経営創研(株)、(株)国和システム、(株)コスモ・コンピューティングシステム、(株)コプロシステム、(株)サートプロ、(株)ジェイジェイエスプラス、(株)システムシンク、ジャパンラーニング(株)、創研情報(株)、SOMPOシステムズ(株)、TAC(株)、東京システムハウス(株)、一般社団法人東京都情報産業協会/(優ゆうパソコンスクール)、日本キスコ(株)、学校法人日本教育財団(HAL)、日本事務器(株)、ネクストウェア(株)、(株)ネクストエデュケーションシンク、Y'sラーニング(株)、(株)ラック

●活動概要

- ・第4次産業革命を実現するような「IT業界が求める人材育成」に注力し、必要な人物像やその育成方法について、セミナー形式での情報収集とメンバーとの意見交換、研究会メンバーの事業紹介などを実施。
- ・JEED生産性向上人材育成支援センターの行う、在職労働者の労働生産性向上を目的とした「生産性向上支援訓練」について、CSAJが事業取組団体として認定を取得、人材育成研究会主催で会員向けに研修講座を10講座実施。



荻原会長からのお祝いの言葉



受賞者代表挨拶：富田伸一郎主査



歓談の様子



会長を囲んで記念撮影

ビジネスマッチング



第 130 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いに
ビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会
開催日時：2019 年 2 月 5 日 (火)、会場：山王健保会館会議室
参加実績：33 社 47 名



- 特別講演：1. 函館市の魅力と産学官金連携、AI・IoT の取り組み
田中 麻衣子 氏 (函館市経済部企業立地担当課長)
2. ものづくりに関する実践的な人材育成
山田 誠 氏
(函館工業高等専門学校 教授・地域共同テクノセンター センター長)
3. 「はこだて未来大学」発ベンチャー企業
村松 洋明 氏 (株式会社 AI ハヤブサ 代表取締役)

プレゼンテーション 1：[eGIS 株式会社](#)

発表製品分類：エンドポイントセキュリティソリューションサービス

発表製品名：セキュリティドクター

プレゼンテーション 2：[ライフログテクノロジー株式会社](#)

発表製品分類：AI ソリューション

発表製品名：カロミルの AI ソリューション

プレゼンテーション 3：[株式会社 FoxitJapan](#)

発表製品分類：パッケージから組み込みまで各種 PDF ソリューション

発表製品名：・Phantom (ファントム) ・PDFSDK ・PVSA (ピーブイエスエー)

プレゼンテーション 4：[エバ電子株式会社](#)

発表製品分類：双方向参加型プレゼンテーションサービス・イベントコミュニケーションサービス

発表製品名：IT&BASIC Japan 社 双方向プレゼンテーションサービス“SYMFLOW”

CSAJ/JIET/JASPA/IVIA 共催 ビジネスマッチング商談会 (主催：交流委員会)

CSAJ と日本情報技術取引所 (JIET)、全国ソフトウェア協同組合連合会 (JASPA)、IT 検証産業協会 (IVIA) の 4 団体共催によるビジネスマッチング商談会を開催

開催日時：2019 年 3 月 8 日 (金) 会場：山王健保会館 会議室

参加実績：70 社 120 名



ビジネスマッチング



第 131 回アライアンスビジネス交流会 (主催: 交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけたいことを目的とした交流会

開催日時: 2019 年 4 月 23 日 (火)、会場: 山王健保会館会議室

参加実績: 27 社 39 名

プレゼンテーション 1: [株式会社コガソフトウェア](#)

発表製品分類: オンデマンド型乗合タクシー

発表製品名: 孝行デマンドバス

プレゼンテーション 2: [株式会社バルソラ](#)

発表製品分類: 作品検索のための投稿用アプリ及びコンテンツ配信の為にウェブサイト

発表製品名: 「izure」コンテンツ制作・投稿、および閲覧の為にアプリ。

プレゼンテーション 3: [株式会社シンカ](#)

発表製品分類: オフィス・店舗向けのクラウド型 CTI サービス

発表製品名: クラウド型 CTI サービス「おもてなし電話」

プレゼンテーション 4: [株式会社クロスパワー](#)

発表製品分類: AWS 管理ツール

発表製品名: 鳴子



情報提供セミナー・説明会

政策

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金に関する説明会

(主催：政策委員会)

開催日：2019年3月1日(金)、会場：CSAJ会議室、参加実績：18社22名

タイトル：中小企業施策に関する説明

講演者：師田 晃彦 氏 (中小企業庁 経営支援部 技術・経営革新課長 (イノベーション課長))

講演概略：ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金を中心として、中小企業施策全般について説明。



中小企業共通 EDI 標準仕様書 v.2.0_draft に係る説明会 (主催：政策委員会)

開催日：2019年4月10日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：7社9名

タイトル：中小企業共通 EDI 標準仕様書 v.2.0_draft に係る説明

講演者：ITコーディネータ協会

講演概略：中小企業共通 EDI 標準 (初版) のバージョンアップ v2.0 に係る仕様内容について説明。



第32回経営力向上セミナー (共催：経営力向上研究会・働き方改革研究会)

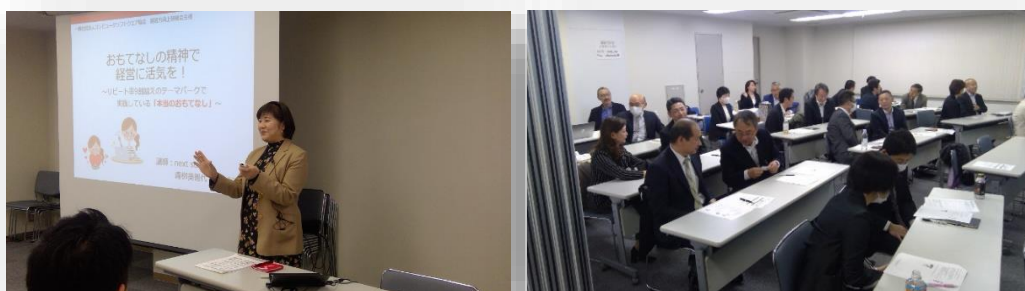
開催日：2019年3月12日(火)、会場：CSAJ会議室、参加実績：25社29名

タイトル：おもてなしの精神で経営に活気を！

- リピート率9割越えのテーマパークで実践している「本当のおもてなし」 -

講演者：青柳 美智代 氏 (next stage 代表、おもてなし楽習塾 主宰)

講演概略：リピート率9割超えのテーマパークで実践しているホスピタリティの実践方法を紹介。



情報提供セミナー・説明会

政策

平成 30 年度補正「IT 導入補助金」のポイント (主催：助成金等活用研究会)

開催日：2019年6月5日(水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：17社 23名

タイトル1：平成 30 年度補正「IT 導入補助金」のポイント

講演者：三橋 心氏 (中小企業診断士 事業再生マネージャー)

タイトル2：まだ間に合う！軽減税率対策補助金の活用について知らないと損する！

～最小のリスクで最大の効果を上げる助成金・補助金活用術～

講演者：前田 啓佑氏 (株式会社ナビット コーポレート事業部 部長)

講演概略：IT ツールを導入する経費の一部を補助することで、業務効率化・売上アップをサポートする補助金「IT 導入補助金」の具体的な申請のポイントを紹介。



法務・知財

第 32 回座談会 (共催：法務・知財委員会・働き方改革研究会)

開催日：2019年3月7日(木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：20社 21名

タイトル1：働き方をアップデート！働き方改革法案、運用対策10連発

講演者：増山 慎一氏 (社会保険労務士法人セルズ 東京事務所所長 社会保険労務士)

タイトル2：最近の法務知財の旬な話題について

講演者：黒住 哲理氏 (東京丸の内法律事務所 弁護士)

村田 和希氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)

講演概略：残業・有給・同一労働同一賃金の3つのテーマを中心に、改正の概要とその対策や運用を説明。また、最近の法務知財の旬な話題について法改正動向等含め解説。

情報提供セミナー・説明会

人材

私たちは業務プロセスの改善や社内リソースの可視化に向けて、iCD（i コンピテンシ ディクショナリ）に取り組みました！

第7期 iCD 活用ワークショップ実施報告会（主催：iCD 研究会）

報告会概略：iCD 研究会では、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）の協力の下、平成30年度で7回目となるiCD活用ワークショップについて、平成30年度第7期の参加企業2社の苦労話なども交えた実施報告会を開催。講師からの講評もいただきつつiCD活用のポイントが説明された。

開催日：2019年1月25日（金）、CSAJ会議室、参加実績：12社19名

タイトル1：iCDの概要と活用ワークショップの実施内容

講師：木田 徳彦（一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）理事
人材委員会 副委員長/iCD研究会 主査）

タイトル2：参加企業によるワークショップ評価及び感想

参加企業：株式会社TKC、株式会社ウチダ人材開発センタ

タイトル3：iCDの最新情報と今後の活動について

- ・iCD協会の活動紹介
- ・iCD活用企業認証制度
- ・第8期iCD活用ワークショップのご案内
- ・iCD活用体験セミナーのご案内 等

講師：木田 徳彦（iCD研究会 主査）



第5回健康経営情報提供セミナー（主催：健康経営推進研究会）

開催日：2019年1月31日（木）、会場：CSAJ会議室、参加実績：36社43名

タイトル1：今日から始める健康経営～従業員の心と体が健康であれば会社も絶好調～

講演者：平井 孝幸氏（株式会社ディー・エヌ・エー CHO室 室長代理）

講演概略：各種資料やデータを交え、健康経営の経営的効果や生産性向上についての解説と、DeNA社の具体的な実践事例について紹介。

タイトル2：健康経営の取組み

講演者：新田 純子氏（株式会社フォーラムエイト 執行役員/システム営業グループマネージャ）

講演概略：同社では「健康経営方針」を策定・公開しており、経産省「健康経営優良法人（ホワイト500）」や健康保険組合連合会「健康優良企業（銀）」等の認定取得といった社外的な活動や全社的な働き方改革への取組みについて紹介。

タイトル3：健康経営への取組み

講演者：砂原 佳幸氏（株式会社富士通エフサス 取締役 経営推進本部副本部長）

講演概略：全国事業所の安全衛生体制を整備し、2017年よりCHOを実行責任者として体制を強化、「富士通エフサス 健康活動方針」を制定し、2018年にはホワイト500の認定を取得した同社の健康経営の取組みについて紹介。



情報提供セミナー・説明会

人材

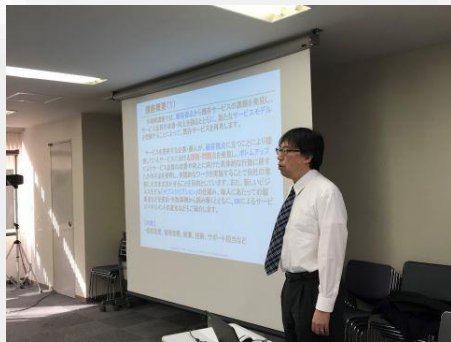
生産性向上訓練第 9 弾 サービスマネジメントによる品質改善と向上 研修講座

(主催：人材育成研究会)

開催日：2019年2月7日(木)～8日(金)、CSAJ会議室、参加実績：7社15名

講演者：高安 篤史氏(株式会社サートプロ IoT技術講師/中小企業診断士)

講演概略：サービスを提供する上での課題・問題点を発見し、改善や向上に向け具体的な行動に移すための手法を習得し、「サブスクリプション」の仕組み、留意点などを事例から読み解くとともにDXによるサービスマネジメントの変化などを紹介。



生産性向上訓練第 10 弾 RPA を活用した業務効率化・コスト削減 研修講座

(主催：人材育成研究会)

開催日：2019年3月6日(水)、CSAJ会議室、参加実績：13社17名

講演者：和泉 朱美氏(株式会社サートプロ 講師/中小企業診断士)

講演概略：RPAの技術概要や活用事例、活用検討にあたってのポイントを理解し、RPAを活用した自社業務の課題解決策立案に繋げることができる能力を習得することを目的とした講座。

i コンピテンシ ディクショナリって何? 「iCD 事例体験セミナー」 (主催：iCD 研究会)

開催日：2019年3月8日(金)、CSAJ会議室、参加実績：12社15名

第1部：i コンピテンシ ディクショナリとは? ～考え方と導入方法、そして全国への広がり～

講師：木田 徳彦 (一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) 理事
人材委員会 副委員長/iCD 研究会 主査)

第2部：i コンピテンシ ディクショナリ導入・活用事例

～iCD を活用した人材育成への取り組み事例紹介～

講師：一般社団法人 iCD 協会 土田 修 氏

第3部：「ワークショップ模擬体験」

- ・iCD 活用ワークショップとは
- ・ワークショップでできること
- ・経営目標の浸透
- ・業務(=タスク)遂行力の見える化
- ・社員のヒートマップ作成 等

講師：一般社団法人 iCD 協会 土田 修 氏



情報提供セミナー・説明会

人材

外国人材採用&育成セミナー (主催：人材委員会)

開催日：2019年4月18日(木)、会場：CSAJ 会議室 参加実績：16社 24名

タイトル1：高度外国人材の採用・定着・活躍推進に向けた経済産業省の施策について

講演者：室住 由加氏 (経済産業省 貿易技術協力局 技術・人材協力課 課長補佐)

講演概略：新たに開設した「高度外国人材活躍推進プラットフォーム」や、海外ジョブフェア、インターンシップ等、経済産業省の施策についての講演。

タイトル2：アジアにおける情報処理技術者試験について

講演者：枝川 慶彦氏 (経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課)

講演概略：日本の情報処理技術者試験をベースとした「アジア共通統一試験」について講演。

タイトル3：高度外国人材育成と日本企業への就職支援について ～ベトナム IT 高度人材の活用～

講演者：藤島 安之氏 (一般社団法人外国人材支援機構 (HuReDee) 理事長)

講演概略：最近の外国人労働者活用の動向と一般社団法人外国人材支援機構 (HuReDee) の活動状況 (ベトナム大学との提携・活動計画等) についての講演。

タイトル4：海外 IT 人材獲得は今が絶好のチャンス！ 外国人材採用の現状と新在留資格活用メソッド

講演者：柴崎 洋平氏 (フォースバレー・コンシェルジュ株式会社 代表取締役社長)

講演概略：「海外 IT 人材」の獲得方法と、昨年インドで開催された経済産業省のジョブフェアについ



iCD 事例体験セミナー (主催：iCD 研究会)

開催日：2019年5月29日(木)、CSAJ 会議室、参加実績：16社 18名

タイトル1：コンピテンシ デクショナリとは？ ～考え方と導入方法、そして全国への広がり～

講演者：土田 修氏 (ネクストウェア株式会社)

タイトル2：コンピテンシ デクショナリ導入・活用事例～iCD を活用した人材育成への取り組み事例紹介～

講演者：井上 淳氏 (株式会社 IP イノベーションズ)

タイトル3：コンピテンシ デクショナリ活用・模擬体験

講演者：木田 徳彦氏 (一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) 理事
人材委員会 副委員長/iCD 研究会 主査)

講演概略：経営目標の実現のために必要な業務の選択、業務(=タスク)遂行力の見える化、業務遂行と担当社員のヒートマップ作成を体験し、実際の結果を踏まえて解説。



情報提供セミナー・説明会

国際

中国を市場として捉えてビジネスを加速！～中国 IT 産業における最新事情～

(主催：アジアビジネス研究会)

開催日：2019年1月30日(水)、会場：CSAJ会議室、参加実績：22社24名

タイトル1：中国IT産業の現状と日中協力について

講演者：周密氏(中国ソフトウェア業界協会(CSIA)常務理事兼日本事務所所長、
成都ウィナーソフト株式会社 総裁&CEO)

講演概略：中国におけるソフトウェア産業を中心としたIT産業全体の概要と国策、中国が注目している技術分野についての解説と、今後の日中間における産業・人材の協力体制構築案の提案。

タイトル2：中国ビジネスの成功と失敗のポイント～中国ビジネスを立ち上げる際に大切な視点と力点～

講演者：秀山 斌氏(株式会社クララオンライン 部長 ゼネラルマネージャー)

講演概略：中国ビジネスの検討や、始めたばかりの企業様を対象にマーケティング、サービス開発、採用、戦略面などの重要ポイントを紹介。



セキュリティ

【第1回】ソフトウェア開発会社に求められるセキュリティ意識～DX時代を支えるために～

(主催：セキュリティ委員会 セミナーWG)

開催日：2019年2月26日(火)、会場：CSAJ会議室、参加実績：28社32名

タイトル：ソフトウェア開発会社に求められるセキュリティ意識～DX時代を支えるために～

講演者：西本 逸郎氏(株式会社ラック 代表取締役社長)

講演概略：DX時代を迎えるにあたり、情報セキュリティが必須であることは間違いがないが、なぜ必要なのか、様々な事例を取り上げ、情報セキュリティへの意識づけを含め紹介。



情報提供セミナー・説明会

技術

DX/IoT 時代の IT セキュリティとシステム品質向上

(主催：IoT 推進研究会)

開催日：2019年1月23日(水)、会場：CSAJ 会議室

参加実績：13名

タイトル：デジタル変革成功の鍵を握るセキュリティ

講演者：星 智恵 氏 (情報セキュリティ大学院大学 客員講師)

講演概略：本講演では、IoT デバイスをターゲットとしたハッキング事例の紹介に加え、IoT センサーで集められたデータの管理活用を見据えた DX セキュリティを考察。

タイトル：安全安心な中小規模向け IoT の実現に向けた品質確認のポイント！
～ワークショップ：品質確認チェックリストを使った IoT 事例の研究～

講演者：宮原 真次 氏 (独立行政法人情報処理推進機構 (IPA 社会基盤センター 調査役))

講演概略：IoT の特徴を考慮した品質確認のポイントを紹介するとともに、IoT 事例に対して中小規模向け IoT の品質確認チェックリストを用いた実践型ワークショップを実施。



Digital Transformation に向けた AI 活用最前線

(主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：2019年2月27日(水)、会場：CSAJ 会議室 参加実績：14名

タイトル：Digital Transformation に向けた AI 活用最前線

講演者：松本 直樹 氏 (富士通株式会社 AI サービス事業本部戦略企画統括部 マネージャ)



Java と ARCore による AR アプリ開発ハンズオン

(主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：2019年2月27日(水)、会場：日本事務器会議室

参加実績：13名

タイトル：Java と ARCore による AR アプリ開発ハンズオン

講演者：高橋 憲一 氏 (株式会社カブク R&D ソフトウェアエンジニア)

講演概略：Java と ARCore を使用して Android 用の AR アプリを開発。Sceneform というライブラリを使うことにより、3D グラフィクスモデルや OpenGL などに精通していなくても見栄えのする AR アプリの開発が可能。

○アジェンダ

1. ARCore の概要説明

ARCore の機能や仕組みと、今回使用する Sceneform について講義形式で解説

2. ハンズオン

資料に沿って実際に参加者の皆さんに開発を行った。

手順の中で詰まった際など随時質問を講師が受ける。

資料：<https://ktaka.github.io/codelab/sceneform-ar-ja/>



情報提供セミナー・説明会

技術

AI for AI～知識獲得のための正解データ生成の効率化～

(主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：2019年3月19日(火)、会場：CSAJ 会議室 参加実績：17名
タイトル：AI for AI 5W1H メタデータの生成、対話 bot 正解データの生成が可能な API 群

講演者：松田 圭子 氏 (メタデータ株式会社 常務取締役 サーバ技術部長)

講演概略：深層学習をはじめとする機械学習がブームだが、知識獲得ボトルネックは残っており、正解データ作りの効率化が特に望まれている。本講演では、AI for AI のコンセプトの下、あらかじめ学習させ、編集した辞書、知識ベース等を用いて、実行時には機械学習を行わないタイプの AI で機械学習用の正解データを生成し供給できる人工知能 API について、具体的な活用事例とともに紹介。



ロボット API セミナー (主催：技術委員会)

開催日：2019年3月27日(水)、会場：CSAJ 会議室 参加実績：13名
タイトル：コミュニケーションロボット API の現状とこれから

講演者：西田 寛輔 氏 (ロボットスタート株式会社 ロボットエバンジェリスト)

講演概略：コミュニケーションロボットの API の現状と、どういう使い方ができるのか？などを初心者にもわかりやすく説明。



第1回 農業 ICT 研究会&特別講演

「安全な農畜産物生産を支援する ICT 営農管理システムの開発」と 「IT を活用したブドウ産業の高度化に関する戦略策定」について

(主催：農業 ICT 研究会)

開催日：2019年4月22日(月)、会場：CSAJ 会議室

参加実績：17社 21名

タイトル1：安全な農畜産物生産を支援する ICT 営農管理システムの開発
飯館村に通い始めて約8年 - 地域復興と農業再生の挑戦

講演者：溝口 勝 氏 (東京大学大学院農学生命科学研究科・教授)

講演概略：避難指示が解除された飯館村で農業再生にチャレンジしている農家と協働しながら、風評被害を払拭すべく新しい農業モデルの創生をめざしてスマホから農畜産物生育の状況を画像やセンサで確認する ICT 営農管理システムを開発。その概要についてご講演。

タイトル2：「IT を活用したブドウ産業高度化に関する戦略策定事業」について

講演者：中道 泰隆 氏 (プロジェクトリーダー)

講演概略：ブドウ産業における標準データフォーマットおよびそれを活用したビジネスモデルを策定。その結果についてご報告。



情報提供セミナー・説明会

技術

OKIにおけるAIの社会実装に向けた取り組み (主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：2019年4月25日(木)、会場：CSAJ会議室、センターフィールド株式会社(ライブ配信)

参加実績：17社21名

タイトル：OKIにおけるAIの社会実装に向けた取り組み

講演者：竹内 晃一 氏 (沖電気工業株式会社 経営基盤本部 研究開発センター AI技術研究開発部 シニアスペシャリスト・担当部長 (AI/データ分析分野) 博士 (工学))

講演概略：AI技術を有用に安全に実社会で利用する手法について、沖電気工業がこれまで行ってきた具体的なソリューションの事例を交えて説明。

Deep Learning をエンタープライズで適応するための秘訣

(主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：2019年5月22日(水)、会場：CSAJ会議室、センターフィールド株式会社(ライブ配信)、参加実績：28社36名

タイトル：Deep Learning をエンタープライズで適応するための秘訣

講演者：小島 克俊 氏 (スカイマインド株式会社 Pre Sales)

講演概略：激しく変化しつつあるAI関連領域の技術をエンタープライズ分野に利用するためにはいくつかの注意点があり、それら現状の課題と解決策の見通しについて、製品販売を通して得た経験を交えて説明。



第35回自動運転導入によるモビリティ社会の変化

(主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：2019年6月24日(月)、会場：CSAJ会議室、センターフィールド株式会社(ライブ配信)、参加実績：15社16名

タイトル：『自動運転導入によるモビリティ社会の変化』

講演者：森口 将之 氏 (株式会社モビリティ代表取締役)

講演概略：自動運転は、人間からAIに切り替わるだけではなく、モビリティサービスが不可欠となる。また、移動診療・販売など、現状では難しいサービスが自動運転により普及する可能性があり、このような社会変化について実験内容を交えながら紹介。



情報提供セミナー・説明会

地域 IoT 推進

地域 IoT 推進セミナー (主催：地域 IoT 推進委員会)

開催日：2019年2月4日(月)、会場：さくらインターネット株式会社 大阪本社

参加実績：39社59名

タイトル1：Software ISAC 設立経緯と活動報告

講演者：萩原 健太 氏 (Software ISAC 運営リーダー、CSAJ セキュリティ委員会副委員長、トレンドマイクロ株式会社)

講演概略：Software ISAC の設立の経緯と今後の取り組み、IPA や JPCERT/CC との連携などについてご紹介。

タイトル2：改正債権法からみた脆弱性管理

講演者：板東 直樹 氏 (Software ISAC 運営メンバー、CSAJ セキュリティ委員会委員長、アップデートテクノロジー株式会社)

講演概略：2020年4月に改正される民法(債権法)では、従来の瑕疵担保責任がなくなり契約不適合という考え方に変わります。改正法からみたセキュリティや脆弱性管理の重要性について解説するとともに、CSAJ と IPA の取り組みをご紹介。

タイトル3：IoT ハッキングの現状

講演者：村島 正浩 氏 (株式会社神戸デジタルラボ)

講演概略：「IoT ハッキングの教科書」の著者が、身近な IoT 機器に存在する脆弱性と、その危険性についてデモンストレーションを交えてご紹介。

タイトル4：Software ISAC 関西の活動

講演者：玉置 慎一 氏 (Software ISAC 運営メンバー、株式会社神戸デジタルラボ)

講演概略：Software ISAC 関西の活動計画をご紹介。



情報提供セミナー・説明会

地域 IoT 推進

地域 IoT 推進セミナー (主催：地域 IoT 推進委員会)

開催日：2019年4月15日(月)、会場：さくらインターネット株式会社 大阪本社

参加実績：29社 53名

タイトル：【大阪開催】関西発：デジタルトランスフォーメーション時代におけるビジネスチャンスと
これからの成長の鍵

講演者：田中 邦裕 氏 (CSAJ 副会長/さくらインターネット株式会社 代表取締役社長)

講演概略：これからのデジタルトランスフォーメーション時代において、関西から始まるビジネスチャンスや成長の可能性について講演。



ビジネス拡大

第6回 BtoB マーケティングセミナー (主催：BtoB マーケティング研究会)

開催日：2019年2月21日(水)、会場：CSAJ 会議室

参加実績：8社 12名

タイトル：営業マンゼロでサクセス！クラウドツールの活用で実現する BtoB マーケティング戦略とは？

講演者：森田 晃輝 氏 (株式会社キャップドゥ 代表取締役)

講演概略：「営業社員ゼロ」という環境で、集客や接客する仕組みをはじめ、自社の取り組みが顧客に提供するサービスにどのように活かされていくのかの仕組みについて、また、地方企業ならではの取り組みや、「地域創生」について講演。



情報提供セミナー・説明会

その他（企画）

CSAJ の活動を知ろう・利用しよう

～平成 31 年度活動方針及び平成 30 年度研究会等成果報告会～

開催日：2019年4月17日（水）、会場：山王健保会館、参加実績：35社37名

ご挨拶：荻原 紀男（株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役会長／CSAJ 会長）

挨拶概略：平成 31 年度の活動方針を交えたご挨拶が行われました。

特別講演：柴田 和也 氏（経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長補佐）

講演概略：「デジタルトランスフォーメーション（DX）に向けて」というテーマで、コネクテッド・インダストリーズ税制、DX レポート（2025 年の崖）、数理資本主義の時代、攻めの IT 経営銘柄などについて説明。

委員会報告と研究会立ち上げに関する説明 <笹岡 賢二郎（CSAJ 専務理事）>

発表研究会	説明者（敬称略）
経営力向上研究会	松倉 泉（株式会社 Harness LLP）
人材育成研究会	富田 伸一郎（株式会社ウチダ人材開発センタ）
iCD 研究会	木田 徳彦（株式会社インフォテック・サーブ）
健康経営推進研究会	砂田 剛（株式会社ファーストステージ）
地方創生 IoT 支援研究会	CSAJ 事務局
ビジネスマッチング研究会	安田 敦（株式会社バリューソフトウェア）
BtoB マーケティング研究会	植山 浩介（SATORI 株式会社）
助成金等活用研究会	福井 泰代（株式会社ナビット）
インターンシップ採用研究会	牧口 和弘（株式会社ココスペース）
助成金等活用研究会	前田 啓佑（株式会社ナビット）
アジアビジネス研究会	吉田 一也（株式会社アスペックス）
人工知能（AI）技術研究会	竹原 司（株式会社デザイン・クリエイション）
働き方改革研究会	村瀬 正典（株式会社バース情報科学研究所）
農業 ICT 研究会	村瀬 正典（株式会社バース情報科学研究所）
UX Tech 研究会	岡田 智義（日本事務器株式会社）

[以下の配布資料は web よりご覧いただけます。（会員限定）](#)

- ・ 経済産業省資料
- ・ 活動 pickup のご紹介と研究会立ち上げについて
- ・ 活動 pickup（2018年7月～2018年12月）
- ・ 研究会報告 1（経営力向上研究会、人材育成研究会、iCD 研究会、健康経営推進研究会、地方創生 IoT 支援研究会、インターンシップ採用研究会）
- ・ 研究会報告 2（助成金等活用研究会、アジアビジネス研究会、人工知能（AI）技術研究会、働き方改革研究会、農業 ICT 研究会、モバイルソリューション研究会）



情報提供セミナー・説明会

その他

平成 31 年度「高度 IT 技術を活用したビジネス創造プログラム」研修講座説明会 (厚生労働省受託事業)

CSAJ では、厚生労働省が公募した「我が国の生産性向上のための高度 IT 技術等に関する教育訓練プログラムの開発の計画(2017 年度～2019 年度)」において、IoT・AI など第 4 次産業革命関係分野のエンジニアの学びなおしをテーマとした「労働者等のキャリア形成・生産性向上に資する教育訓練開発プロジェクト事業」を 2017 年度から 3 年事業として実施しています。

2017 年度に開発した研修プログラムについて、2018 年度は 2 回の講座を開き、計 40 名が受講しました。本講座は 2019 年度も 2 回開催し終了となります。

そこで、2019 年度研修講座の開催スケジュールを発表するとともに、早稲田大学データ科学総合研究教育センター松嶋センター長より、「データサイエンス」の重要性とその育成方法に関する講演、および、本事業における検討委員会委員長である早稲田大学人間科学学術院 人間情報科学科 松居教授による本講座が狙う効果について解説する説明会を以下の通り開催しました。

- タイトル：データを制する者がビジネスを制する時代
～DX (Digital Transformation) を支える人材開発～
- 開催日：2019 年 2 月 28 日(水) 15:30～17:00、会場：KFC Hall & Rooms KFC Hall 2nd
- 参加実績：28 社 32 名
- 来賓挨拶：木下 和也氏 (厚生労働省 人材開発統括官付若年者・キャリア形成支援担当 参事官室 室長補佐)
- 講演 1：「データサイエンスとその人材育成のポイント」
松嶋 敏泰氏 (早稲田大学 データ科学総合研究教育センター 所長)
- 講演 2：「DX でビジネスを加速させ得る人材とは」
松居 辰則氏 (早稲田大学 人間科学学術院 人間情報科学科 教授)
創造プログラム検討委員会 委員長



- 研修講座の目的
第 4 次産業革命において必須である IoT、AI やビッグデータに代表される IT 系の技術を駆使し、新たな発想（サービス企画・デザイン思考）でビジネスを創造できる高度 IT エンジニアを育成する。
- 研修講座の特徴
 1. 実習や実機演習中心で体験して理解する講座
 2. 各分野のプロフェッショナルが作成したカリキュラム、テキストを使用する講座
 3. 実際に最先端で活動されている企業を訪れるフィールドワークを実施する講座
 4. 講座のみは Web での Live 配信受講ができ自席での受講も可能
 5. キャリアコンサルタントによる受講後の無料アドバイス
- 2019 年度研修講座の開催期間
 - 第 1 回：2019 年 7 月 2 日 (火) ～9 月 27 日 (金)、会場：ウチダ人材開発センタ
 - 第 2 回：2019 年 10 月 16 日 (水) ～12 月 17 日 (火)、会場：ウチダ人材開発センタ

ニュースリリース

2019年1月17日(木)

[CSAJ×WirelessWireNews タイアップ企画～これからのIT企業とエンジニア～](#)

CSAJはこの度、IT企業やそこで働くエンジニアの魅力にスポットをあてながら、働き方改革、ワークライフバランス、テクノロジーの発展による変化など、次代を担う人々をオンラインメディア記者に取材いただき、記事掲載することで、企業のブランドイメージ、社内におけるエンジニア地位や社員意識の向上、採用支援などを目的としたタイアップを「WirelessWire NEWS」と共に企画しました。

2019年1月22日(火)

[CEATEC JAPAN 2019 開催概要説明会開催のご案内/2018 実施報告書について](#)

CEATEC JAPAN 2019は、10月15日(火)～18日(金)幕張メッセにて開催いたします。あらゆる産業・業種による「共創」からなるビジネス創出と、技術及び人と人との情報交流が一堂に会す場を提供すべく、2018年以上にスケールアップした展開を目指してまいります。つきましては、CEATEC JAPAN 2019 開催概要説明会を下記の日程で開催し、CEATECの新たな取り組みや開催概要・出展規定等の説明、ならびに関連資料の配布を行いますので、是非ご出席賜りますようお願い申し上げます。なお、参加ご希望の際は、2019年2月1日(金)までに出席回答紙をCEATEC JAPAN 運営事務局宛にE-MailまたはFAXにてご提出くださいますよう併せてお願い申し上げます。

2019年4月2日(火)

[「U-22プログラミング・コンテスト 2019」通算40回目を迎えるコンテストの詳細発表！コンセプトは「待ってろ、未来。」、経済産業大臣賞受賞特典を強化](#)

「U-22プログラミング・コンテスト」を主催するU-22プログラミング・コンテスト実行委員会は、4月1日に2019年度プログラミング・コンテスト公式Webサイトをオープンし、今年度の応募要項を公開しました。40周年を記念して、経済産業大臣賞の副賞を40万円に増額。さらに、大臣賞受賞者には様々な特典を用意し、更なる成長を目指すための支援を複数用意しています。また、2018年に引き続き、全国小中学生プログラミング大会と連携し、最終審査は同日・同会場で実施し、イベントなどの企画も予定しています。

2019年4月22日(月)

[ブドウ産業における標準データフォーマットを策定](#)

[－ ITを活用したブドウ産業高度化に関する戦略策定事業報告 －](#)

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(東京都港区赤坂、会長:荻原紀男、株式会社豆蔵ホールディングス代表取締役会長、以下「CSAJ」)は、一般財団法人機械システム振興協会より受託した「ITを活用したブドウ産業高度化に関する戦略策定」事業において、CSAJ内に設置した「戦略策定委員会(委員長:佐藤洋平、一般社団法人フードビジネス推進機構代表理事)」で、ブドウ産業における標準データフォーマットおよびそれを活用したビジネスモデルを策定し、その結果を報告書にまとめ公表しました。本事業で策定した「ブドウ産業における標準データフォーマット」は、データの整理方法から定義され、データモデルとして複合的なデータ(各種センサーから様々な情報や情報提供者が管理している複数のデータベースの内容等)を気象や栽培データにとどまらずに集約し、農業者のみならず加工業者や消費者等の利用目的にあわせた項目で構成されています。また、ブドウ産業にかかわる農業者、ワイン生産者、ワイン流通業社などの関係者よりニーズを調査し、その結果を踏まえ、今回策定した「ブドウ産業における標準データフォーマット」の活用戦略も提案されています。そして、ブドウ産業にかかわる多くの方々を活用いただき、ブドウ産業の高度化につながることを祈念しております。

2019年6月11日(火)

[「2019日中ソフトウェア産業懇談会」開催について](#)

CSAJでは、7月24日、中国江蘇州南通市にて中国ソフトウェア産業協会(CSIA)とともに「2019日中ソフトウェア産業懇談会」を開催する運びとなりましたのでお知らせいたします。本懇談会において、CSAJはアジアビジネス研究会が企画した中国視察ツアーの一環として約20名が参加を予定しており、日中のソフトウェア産業の現状報告を行うとともに、CSIAに所属する現地ソフトウェア企業との交流・商談会を開催する予定です。

2019年6月11日(火)

[中国訪問について](#)

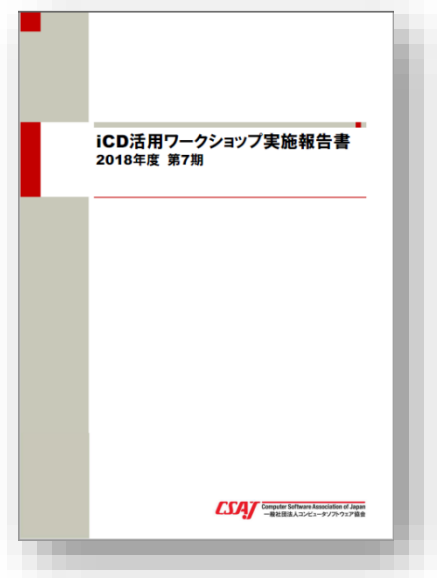
中国(北京/上海)を訪問し、各団体および北京市政府関係者と会談をしました。

報告書

第7期 i コンピテンシ ディクショナリ活用ワークショップ実施報告書を公開

iCD 研究会（主査：木田徳彦 CSAJ 理事・株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役）は、2018 年 7 月から 9 月までの間に全 6 回行われたワークショップの実施内容や各企業の成果についてを報告書としてまとめ、公開しました。

1. i コンピテンシ・ディクショナリ活用ワークショップ実施の背景と目的
 1. i コンピテンシ ディクショナリ活用ワークショップ実施の背景
 2. iCD 活用ワークショップの目的と期待効果
2. iCD 活用ワークショップの実施概要
 1. ワークショップのスケジュール
 2. ワークショップの概要
 3. 参加企業
 4. 実施体制
3. ワークショップの実施内容（各回の議事録を掲載）
 1. ワークショップ事前説明会
 2. 第1回&第2回ワークショップ
 3. 第3回ワークショップ
 4. 第4回ワークショップ
 5. 第5回ワークショップ
 6. 第6回ワークショップ
4. iCD 活用ワークショップの結果（企業別に掲載）
 1. 日本ナレッジ株式会社
 2. サクサ株式会社
 3. オー・エイ・エス株式会社
 4. 株式会社シー・シー・ダブル
 5. 株式会社テクノブレーン
5. iCD 活用ワークショップの評価と今後の取り組み
 1. ワークショップの総合評価
 2. 今後の取り組み



高度 IT 技術を活用したビジネス創造プログラム事業報告書

厚生労働省が公募した、我が国の生産性向上のための高度 IT 技術等に関する教育訓練プログラムの開発の計画(2017 年度～2019 年度)において、IoT・AI など第 4 次産業革命関係分野のエンジニアの学びなおしをテーマとした「労働者等のキャリア形成・生産性向上に資する教育訓練開発プロジェクト事業」を 2017 年度から 3 年事業として実施します。

2018 年度は、平成 2017 年度に検討・策定したカリキュラムを計 2 回開講し、40 名の受講者を集めました。受講者にはアンケートおよびヒアリングを実施し、その結果を翌年度のカリキュラム改善に向けて検討を行いました。

また、講師マニュアルの検討を行い、その結果を基に「平成 30 年度活動報告書」を 2019 年 3 月に発刊いたしました。



報告書

プロダクト脆弱性対策・対応成熟度シート Version 1.0

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 セキュリティ委員会 制度 WG（リーダー：加藤 智巳、株式会社ラック）では、「PSIRT Service Framework Version 1.0 Draft 日本語抄訳」をもとに、PSIRT Service Framework の各フレームワークの目的達成過程の状態を成熟度レベル毎に示した「プロダクト脆弱性対策・対応成熟度シート Version 1.0」を作成しました。

プログラム開発事業やソフトウェア販売等に関わる企業において、製品の脆弱性管理は重要な課題となってきました。この成熟度シートは、自社開発製品または自社販売製品に関する脆弱性管理を課題として扱い始めた組織、または製品セキュリティ・インシデント対応チーム（PSIRT）の設立を進めている組織、もしくは PSIRT 業務の品質の向上を目的に、現状評価や課題の洗い出し、施策の方向性を検討する材料として利用して頂きたいものです。

2018年にリリースされた、PSIRT Service Framework Version 1.0 Draft 日本語抄訳では、PSIRTのあるべき姿をサービスエリア毎に詳細に記述してありますが、組織の規模や製品販売対象範囲の違いなどで、要件としてそのまま自組織に当てはめるには難しい面も散見されます。この成熟度シートは、PSIRT Service Framework の理解を助けると同時に、目標とする成熟度レベルを自ら設定し、中小規模のビジネスにおいても参考となるよう配慮しました。

◆利用の仕方◆

各フレームワークの目的を確認したうえで、レベル0の内容から順に上位レベルに向けて記述を読み、自組織がどのレベルに最も近いかという観点で採点してください。

目的の内容が明らかに業務範囲外であればそのフレームは除外してください。

当面はフレームワークの平均が2.5~3.0となるように、各フレームワークの要件を満たすための施策や計画を検討し実施してください。

採点は定期的(半年~1年に1回)、あるいは組織改革や業務改革実施後、インパクトの大きいインシデントを対処した後などが適切です。

※レベル記述文中に、フレームワークのナンバーを付与しましたので、「PSIRT Service Framework Version 1.0 Draft 日本語抄訳」と照らし合わせて参考としてください。

◆注意事項◆

文中に「PSIRT」が主語として多く記述されていますが、レベル0~2に関しては「PSIRT」という組織が存在せずとも、PSIRTの一部の機能や脆弱性管理責任を持つ組織や個人が存在すれば、それを当てはめて評価してください。

記述内容や用語が理解できない場合は、「PSIRT Service Framework Version 1.0 Draft 日本語抄訳」の内容や用語の定義を確認してください。



実施事業

プライバシーマーク審査事業

1. プライバシーマーク審査判定委員会 (2019年4月～6月)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、計3回の委員会を開催し、付与適格決定32社（新規8社、更新22社、組織変更2社）、個人情報事故措置9件を決定致しました。

2. 2019年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (2019年1月～6月)

	新規	更新	組織 変更	合計	目標値 対比	入会 数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退 /退会/ 審査機関 変更	Pマーク 実質増減 数
2018年 度実績	52社	84社	0社	136社	151.1%	66社	1社	16社	37社
2019年 度経過	12社	57社	2社	69社	47.6%	17社	3社	14社	1社

※実績は、審査中を含む。

3. 申請様式、申請方法、審査料等

申請様式、申請方法、審査料等については、以下のURLをご参照下さい。

<http://www.csaj.jp/activity/project/pmark/index.html>

実施事業



U-22 プログラミング・コンテスト 2019 プロコン応援団大募集！

U-22 プログラミング・コンテストは、国内の IT 人材の発掘と育成を目的に、1980 年から経済産業省主催で行われていた歴史あるプログラミング・コンテストで、次回で記念すべき 40 回目、民間移行してから 6 回目を迎えます。

現在、あらゆる産業で IT 技術が必要とされ、デジタル化による効率化と新価値創造、いわゆるデジタルトランスフォーメーション (DX) が求められています。国内全体のリテラシー向上と先端 IT 人材育成のため、日本でも来年から小学校でプログラミング教育が必修化し、その後、中学校、高校においても段階的に「情報教育」分野の指導要領改訂が予定されています。

近年そういった社会的背景も後押しに、「プログラミング」に注目が集まっていますが、しかし一方で、まだ日本における「IT エンジニア」の地位・給与は高いとは言えず、優秀な人材が海外に流出していくことも少なくありません。

当コンテストはこれからの日本の未来を IT で創る、次代の若者を応援するコンテストです。そしてコンテスト経験者が将来 IT 業界で活躍し、人材の不足を解決するための一助となるような役割を目指し、開催しています。

より多くの企業の皆様に、コンテストに関わっていただくため、「応援団」という小口協賛枠をご用意しております。皆様もぜひ、日本の若者を一緒にサポートしていきませんか。ご参加お待ちしております。

▼参考：コンテストの様子

[U-22 プログラミング・コンテスト公式 Web サイト](#)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2018 最終審査会](#) (Movie)

▼U-22 プログラミング・コンテスト 2019 応援団詳細・申込

https://www.csaj.jp/NEWS/activity/u22/2019_ouensponsors.html

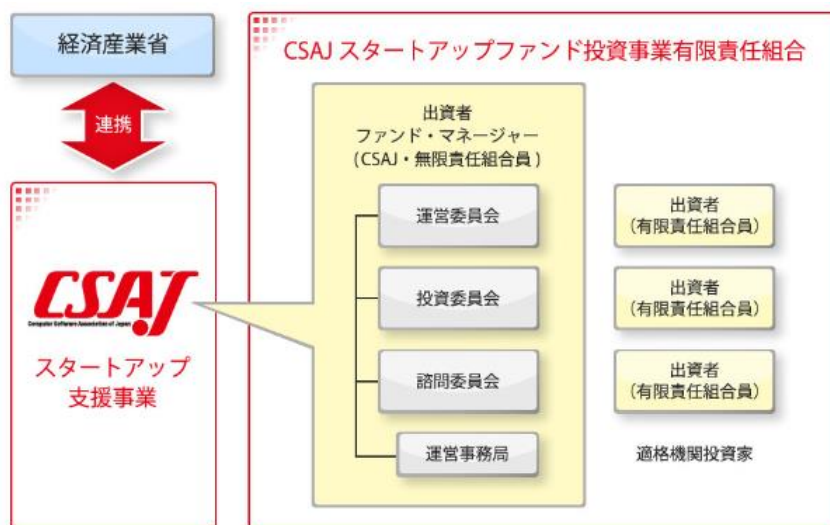
実施事業

スタートアップ支援事業

ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つCSAJの特色を生かし、今後、排出される有能なIT関連起業家の発掘とその支援を行う「CSAJスタートアップ支援事業」を平成27年度より開始しています。

エントリー企業の累計は、79件（2015年：21件、2016年：20件、2017年：19件、2018年：19件）となっており、2019年6月末までに、投資委員会において今後の成長が見込まれる20社が選定されました。

CSAJスタートアップ支援公式サイト <http://www.csajstartup.com/>



支援先企業 20 社（2019 年 6 月時点）





品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

新 PSQ 認証制度 申請製品募集中！

ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、CSAJ が、国産既製ソフトウェア製品/クラウドサービスの品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 を評価基準として参照して構築した品質認証制度です。認証制度には自社で完結する簡易認証、ドキュメントによる第三者認証、実機検証による第三者認証まで簡易なレベルから、より高度な評価・認証までラインナップ化しております。

- ・ PSQ-Lite <簡易認証>
- ・ PSQ-Standard <評価機関によるドキュメントでの第三者認証>
- ・ PSQ-Premium <独立評価機関による実機検証での第三者認証>

<http://www.csaj.jp/activity/project/psq/index.html>



ISO/IEC 25051:2014



ISO/IEC 25051:2014

認証申請、お問い合わせ先（PSQ 認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8452(部門直通) E-mail:psq_info@csaj.jp

ソフトウェア品質保証宣言 「ソフトウェア品質向上宣言」申請企業募集中！

自社のソフト開発に対する品質への取組をアピールするなら！

CSAJ では、ソフトウェア開発企業が自社で開発目標を掲げ、高品質な製品提供ができるような基準を持って、製品出荷を実施（予定含む）する品質向上に向けた自社の活動を宣言書に基づき宣言し、取引先や見込み顧客に向けて自助努力を説明しやすくすることを目的としたソフトウェア品質向上宣言を開始しました。品質宣言条項（フォーマット）への記載と提出のみで証明ロゴマークを提供しますので Web サイト、カタログ等で積極的なアピールに活用可能です。

http://www.csaj.jp/activity/project/SW_Declare/index.html

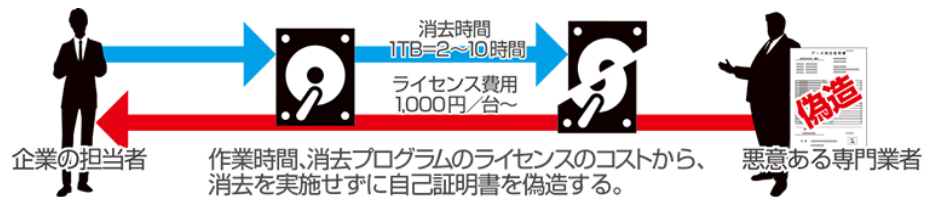


データ適正消去証明書発行事業



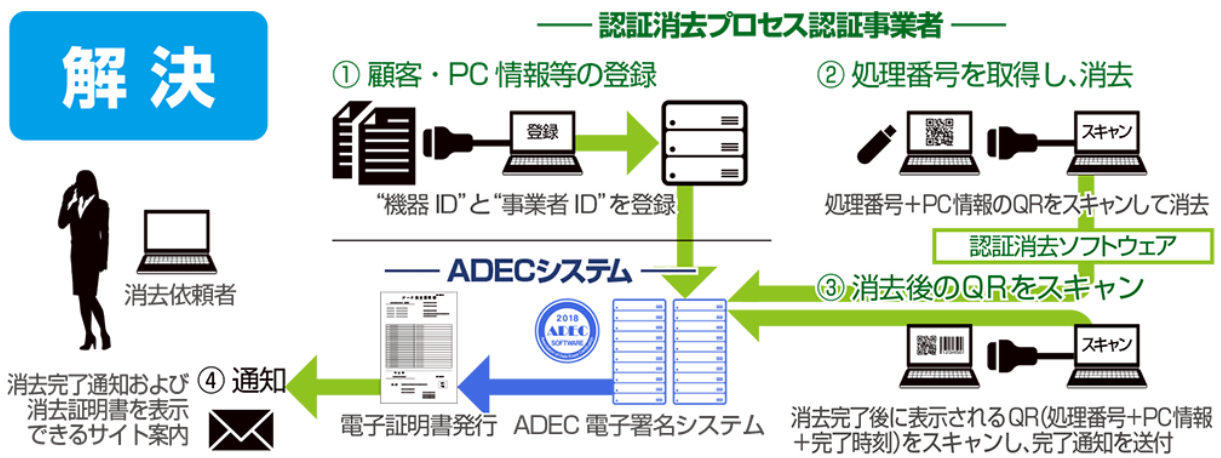
データの適正な消去のあり方を調査・研究し、その技術的な基準を策定するとともに、これに基づいてデータの適正消去が実行されたことを証明するための第三者的な証明制度の普及・啓発を図り、もって我が国における健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現に寄与することを目的として設立された「データ適正消去実行証明協議会(略称 ADEC)」からの委託を受け、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会では、「データ適正消去実行証明書」を発行します。一般社団法人コンピュータソフトウェア協会が、第三者として「データ適正消去実行証明書」を発行することにより、より健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現を目指していきます。

問題



消去事業者の作業報告書(自己証明書)では、作業を実施したか確認できない。

解決



第三者が証明することで、適正な消去を行ったことが証明できる。



ADECで認証された「消去ソフトウェア」のメーカーおよび「消去サービス事業者」として認証された企業様と協力し、パソコン等のデータが適正に消去されたことを証明する「データ適正消去実行証明書」を発行します。

CSAJ 会員限定 サテライト・オフィス

CSAJ サテオ

CSAJ サテオとは？

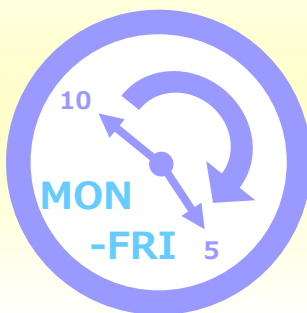
CSAJ では、会員向けに提供しているコワーキングスペース「CSAJ サテオ」を事務局内（3F）に用意しました。

フリーアドレスを意識したレイアウトで、向かい合わせのソファ席や打合せにもご利用可能な大きなデスクもご用意しております。もちろん、Free Wifi や電源もご利用いただけます！

CSAJ の「働き方改革宣言」を会員企業が実践するにあたって、コワーキングスペースを利用することで外出中の移動時間を有効に活用するだけでなく、同スペースで会員同士から生まれるコラボレーションにも期待しています。

会員の皆様のサテオご利用を心よりお待ちしております。

<利用概要>



※但し、CSAJ の営業日に準じます



※CSAJ 会員限定
※予告なく終了する可能性があります

詳細は会員専用 Web ページをご参照ください（閲覧には ID とパスワードが必要となります）

<https://www.csaj.jp/member/coworkingspace.html>



CSAJ 会員限定 CSAJ カタログラック



CSAJ では、委員会・研究会やセミナーで使用している会議室の通路壁面にカタログラックを設置、会員企業のカタログ展示用に開放しております。

CSAJ 事務局の会議室は、委員会やセミナー等が開催されており、月間延べ 200 名～300 名の往来があります。この会議室の通路壁面をカタログ展示スペースとし、会員企業各社が自由にカタログやチラシを展示できるようにしています。

会議室への動線上にあるだけでなく、CSAJ サテオに隣接していることにより、多くの方にご利用、閲覧頂ける形になっています！

会員の皆様のご利用を心よりお待ちしております！

注意事項

- ・ラックの使用は先着順となります。
- ・同時に 2 つ以上のラックの利用はご遠慮ください。
- ・電話やメールで空き状況をご確認頂くことはできますが、予約は受け付けておりません。予めご了承ください。
- ・展示したカタログがすべてなくなっても事務局からはご連絡しません。補充は各社にてお願いいたします。
- ・セミナー告知等期限がある場合、期限後は速やかに撤去してください。
- ・展示期間を過ぎたものは撤去・破棄致します。予めご了承ください。



2019 年度展示期間	
第 1 期	2019 年 4 月 1 日 ～ 2019 年 6 月 30 日
第 2 期	2019 年 7 月 1 日 ～ 2019 年 9 月 30 日
第 3 期	2019 年 10 月 1 日 ～ 2019 年 12 月 31 日
第 4 期	2020 年 1 月 1 日 ～ 2020 年 3 月 31 日

詳細は会員専用 Web ページをご参照ください (閲覧には ID とパスワードが必要となります)

https://www.csaj.jp/member/catalog_showcase.html

CSAJ 活動 Pickup

2019年1月～6月

2019年8月15日発行

CSAJ Computer Software Association of Japan
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

〒107-0052

東京都港区赤坂1-3-6

赤坂グレースビル

TEL : 03-3560-8440

FAX : 03-3560-8441

<https://www.csaj.jp/>